



まきび通信

校 訓
夢へ みんなで まっすぐに

岡山県立倉敷まきび支援学校

学 校 だ よ り

7 月 号

【夢は大きければ大きいほど、遠くにいける】

これは、東京五輪・自転車競技（BMX）日本代表の長迫吉拓選手が、母校の笠岡市内の小学校で全校児童に向けて話された言葉です。

長迫選手は、「夢をもつこと」「夢をもち続けること」「夢に挑戦すること」の大切さを語られました。長迫選手の話の後、インタビューに応じた小学生は「パティシエになりたい」「料理店を開きたい」と、瞳を輝かせながらインタビューに答えていました。

本校の校訓は、「夢へ みんなで まっすぐに」です。「夢を見つけ」「夢を育み」「夢に挑戦する」児童生徒を応援し続けたいと思います。

コロナ禍で心配していた高等部3年生の現場実習（卒業後の進路を決定していくための実習）も6月から行えるようになりました。

「私は、これができれば十分！」「私は、これ以上は無理！」と考えず、夢を大きくもち、自分の世界を広げていってほしいと思います。そのためには、一人一人が自信をもつことができるように、周囲の『励まし』や『称揚』、『アドバイス』も必要になります。

夢へ みんなで 頑張っていきましょう。

（校長 西 千秋）

【ほっこりする・いい話】

6月29日（月）に避難訓練がありました。避難訓練は、命を守るための大切な行事ですが、避難後の3密を防ぐために、全体への話（講評）はクラスごとに行うこととして、短縮して行いました。

避難訓練の際、火元となるのは、いつも「火を使う給食調理場」。

栄養教諭の横山先生から、こんな『ほっこりする話』を聞きました。

避難訓練は4時間目の給食前。いつものように給食時間に各教室を回っていると、あるクラスの児童が椅子からスクッと立ち上がり、予定表が掲げられているホワイトボードのところに行きました。見ると、4時間目の避難訓練を指さして心配そうな顔をしています。「大丈夫だよ。ありがとう。給食作れたよ。」と応えると、安心して静かに椅子に座ることができました。

「優しいね。」「ありがとう。」と横山先生は嬉しそうに話していました。

緊急放送をしっかりと聴いていることに感心するとともに、優しい子が多いことを嬉しく思いました。

倉敷まきび支援学校ホームページ



倉敷まきび支援学校 Facebook

